

放射線科だより



令和6年6月21日
診療放射線科 青山 将吾

《唾石症(だせきしょう)》

・唾石症とは

唾液には虫歯の予防や、口内の粘膜の保護などといった重要な機能があります。

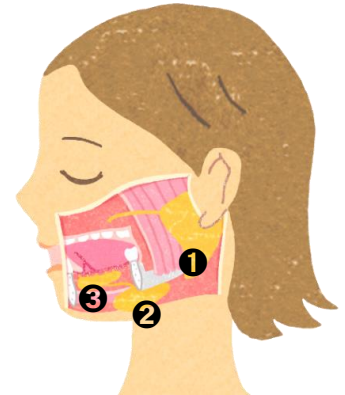
唾液は唾液腺と呼ばれる部分で作られ、細い管を通して口の中に流れ込んでいます。

唾石症とは、この管の中に石ができて詰まってしまう病気です。

・唾石症の症状/診断

唾石症の症状には、食事をとるとあごの下が腫れて痛みが出る、唾液が減り口の中が渇きやすくなるといったものがあります。

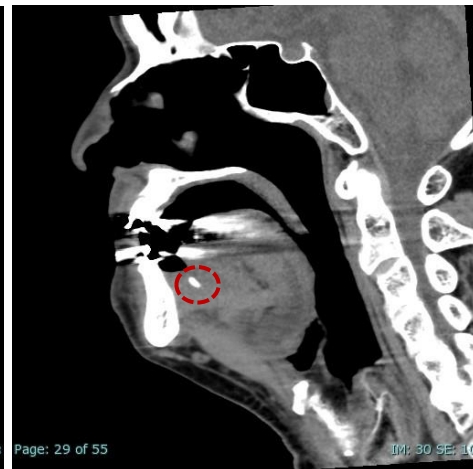
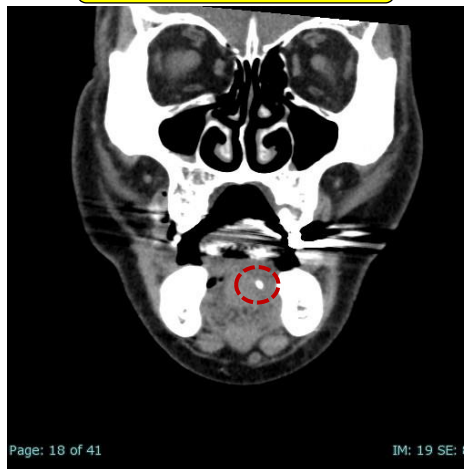
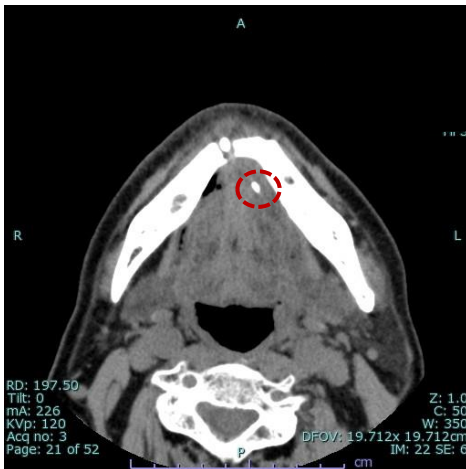
唾石はレントゲンによく写るので、位置や大きさの確認のため、レントゲン撮影やCT検査を行います(下図赤丸内の白い部分が唾石)。加えて、視診・触診も行い、唾石症の診断をします。



唾液腺

- ①耳下腺(じかせん) ②顎下腺(がっかせん)
③舌下腺(ぜっかせん)

唾石のCT画像



・唾石症の治療

唾石は唾液と共に自然に排出されることもありますが、排出されない場合には、口の中を小さく切り開き、唾石を取り出します。また最近では、とても細い内視鏡を使って、切らずに唾石を取り出す方法もあります。

唾石症の予防には唾液をたくさん出すことが重要です。**普段からよく噛んで食事をする**ことで唾液の分泌が促されます。